

第3号様式（第7条関係）

SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGs の内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGs の推進に取り組むことを宣言します。

< 宣言日 > 2025 年 5 月 29 日

事業者情報					
事業者名		アットドウス株式会社			
代表者 職・氏名	職名	代表取締役			
	氏名	中村秀剛			
ホームページ URL (任意)		https://atdose.com/			
事業者ロゴ (任意)		 The progress for next generation			
事業者としての 2030 年のあるべき姿					
当社は電気浸透流ポンプというコア技術を活用し、局所に微量に正確に投与可能なモバイル型電動シリンジを開発しています。2030 年までに複数の用途・複数の国で医療機器を上市し、特に発展途上国における患者の QOL 向上に貢献します。					
これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17 のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）					
1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に 
		○ ●			
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任 
			○ ●		
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさも守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナリシップで目標を達成しよう 	
				○ ●	

目標の達成に向けた重点的な取組内容等				
分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)			SDGsゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)	目標の達成に向けた重点的な取組
①	経済	☐	【メイン】 3 【サブ】 10	がん患者の抗がん剤治療に対する副作用を軽減し、患者の QOL を向上することをミッションに医療機器の開発を行う。
	社会	☒		
	環境	☒		
②	経済	☒	【メイン】 17 【サブ】 3	インド現地法人や現地パートナーと協力して、医療機器の開発を行う。
	社会	☒		
	環境	☐		
③	経済	☒	【メイン】 17 【サブ】 10	インドの農村部や医療施設が充実していない地域でも患者にやさしい医療を実現できる医療機器を、インド現地法人や現地パートナーと協力して開発する。
	社会	☒		
	環境	☐		

進捗報告			
	進捗状況（1年目）	進捗状況（2年目）	進捗状況（3年目）
①			
②			
③			